第三者証明書
クラウドサービス提供情報セキュリティ対策

№２０１６－ＩＳＲ－５０３
平成２８年１０月１５日
株式会社アイ・エス・レーティング

株式会社アイ・エス・レーティングは、三谷産業株式会社のクラウドサービス提供における情報セキュリティ対策に関する調査を実施しました。

本書において、以下に掲載した事案が事実であることを第三者として証明します。

１．調査概要

企業・団体名	三谷産業株式会社
調査スコープ	クラウドサービス
調査対象	クラウドサービス提供における情報セキュリティ管理
調査事項	クラウドサービス提供における情報セキュリティ管理状況（※１）
リファレンス	総務省「クラウドサービス提供における情報セキュリティ対策ガイドライン」 ～利用者との接点と事業者間連携における実務のポイント～
調査日	２０１６年９月２０日～２０１６年１０月１４日
本書交付日	２０１６年１０月１５日
利用期限	本書交付日から１年（※２）
証明 ID コード	10000230115S1601

※１　調査の方法は、責任者等へのヒアリング、規程および台帳類の閲覧、関連設備の視察を用いております。

※２　当証明書は、調査実施日における事象について事実であることを証明するものであり、継続的に当該事象が必ず存在することを保証するものではありません。また、調査対象の仕様変更や社会環境の変化に応じ、緊急時には随時、また平常時には年一回の再調査による点検を推奨しています。

●お問い合わせ先　株式会社アイ・エス・レーティング　〒103-0023 東京都中央区日本橋本町 1-10-2 第 20 ビル　8 階
TEL：03-3273-8830　http://www.israting.com

２．確認結果

（１）経営管理

①三谷産業グループとしての統制に加えてクラウドサービスを提供しているアウトソーシング事業のためのＩＳＭＳ推進組織である情報セキュリティフォーラムが機能しており、管理組織体制、情報セキュリティ規程類の整備、情報資産の識別、リスクアセスメント、人的セキュリティ、委託先（子会社）管理、インシデント対応・危機管理、コンプライアンス等、非常に高いレベルで統制が進められている。現場部門では、お客様からの預かり資産を確実に守るため、物理的アクセス管理やIT システムの運用管理等が着実に実施されている。

②リスクへの対応、事業継続計画（ＢＣＰ）の取り組みとして、リスクマネジメント委員会が設置され、リスクマネジメントに係る計画等の重要事項の承認及びマネジメントレビューが実施されている。

③当該サービスを提供しているデータセンターの建物・設備は、「総務省：公共ＩＴにおけるアウトソーシングに関するガイドライン」「ＩＤＣイニシアティブ：ＩＤＣ活用ガイドライン（高品位規格）」の指針に準拠したデータセンター専用の建物・設備である。また、「日本データセンター協会：データセンターファシリティスタンダードVersion2.1」の評価項目について、第三者による客観的な評価を実施している。

（２）事業継続管理

① 地震・台風・洪水・雪害等の自然災害発生を想定した対応策の策定・訓練および定期的な見直しを実施している。訓練結果を評価し、ＢＣＰの実効性の確認、改善を実施している。

② 火災、輸送事故、環境汚染物質の流出、同社データの流出・紛失等の業務活動に起因するリスクへの対応策の策定及び定期的な見直しを実施している。

③ アウトソーシングサービスにおいて、情報セキュリティ格付け最高位「ＡＡＡis（トリプルＡ）」を取得・維持し、強力な情報セキュリティサービスを提供している。さらに、ＩＴサービスの継続対策に対してのプロセス内容・品質、および企業統治について、第三者による客観的な評価を実施している。

（３）人事管理

① ｅーラーニングシステムによるコンプライアンス教育の実施、コンプライアンス委員会における法的リスクの検討および対応策の強化などにより、法令違反による事業活動に重大な損失が生じるリスクへの対応策の策定及び定期的な見直しを実施している。

② 重大な労働災害、内部告発、機密漏洩等により重大な損失が生じるリスクへの対応策の策定及び定期的な見直しを実施している。

●お問い合わせ先 **株式会社アイ・エス・レーティング** 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町 1-10-2 第 20 ビル 8 階
TEL：03-3273-8830 http://www.israting.com

第三者証明書
クラウドサービス提供情報セキュリティ対策

（４）クラウドサービス提供における情報セキュリティ管理策実施状況確認事項

総務省「クラウドサービス提供における情報セキュリティ対策ガイドライン～利用者との接点と事業者間連携における実務のポイント～平成２６年４月」は、クラウドサービスの情報セキュリティ対策として、クラウドサービス提供事業者が実施すべきセキュリティ対策等をまとめたガイドラインである。三谷産業株式会社のクラウドサービスでは、そのガイドラインに示された管理項目について管理策を講じている。なお、当該クラウドサービスは、日本国内の自社資源でのみ提供している。他組織である供給者のサービスを利用したクラウドサービスは提供していない。他国の資源、サービスの利用や他組織である供給者のサービスの利用に関するリスクがない。

領域	目的	管理項目	実施状況
6. 情報セキュリティのための組織	6.1 内部組織	6.1.1 情報セキュリティの役割及び責任	ＩＳＭＳ管理において、情報資産の保護と情報セキュリティプロセスの実施に対する責任を明確に規定し、その責任者を記述している。
		6.1.2 職務の分離	システム設計・構築及びサービス運用・設定の実務を行うものと認可を行うものの役割と責任を明確にしている。さらに、開発・保守の実務を行うものと運用を行うものの役割と責任を明確にしている。又、重要なシステム変更に対しては特別な承認手続きを実施している。
	6.2 モバイル機器及びテレワーキング	6.2.1 モバイル機器の方針	モバイル機器に適合した認証方法を提供して、アクセス制御を確実に実施している。モバイル機器との通信は暗号化している。クラウド利用者に対して、利用上の運用規定の順守を依頼している。
	6.3 クラウド利用者とクラウド事業者の公平な取引を確保するための措置	6.3.1 クラウドサービスの情報セキュリティマネジメントに係わる提供条件の明確化	利用規約・ＳＬＡにて、クラウドサービスの情報セキュリティマネジメントの責任範囲、サービスレベル、個別対応可能な範囲を明確にしている。
		6.3.2 利用者接点とサプライチェーンにおける情報提供・供給	クラウドサービス検討者に対してＳＬＡを開示している。利用者の求めに応じて、ＳＬＡの順守状況を提示している。問合せに迅速に対応するためコールセンターを開設している。さらに、第三者機関により情報セキュリティ対策状況を確認し、文書化し公開している。
8. 資産の管理	8.1 資産に対する責任	8.1.1 資産目録	利用者の情報資産とクラウドサービスを運用するための情報資産を分類し管理している。仮想化した資産についても利用者ごとに仮想資源を割り当て明確に区分して管理している。

●お問い合わせ先 **株式会社アイ・エス・レーティング**
〒103-0023 東京都中央区日本橋本町 1-10-2 第 20 ビル 8 階
TEL：03-3273-8830 http://www.israting.com

		8.1.2 資産の管理責任	資産の管理ポリシーと管理水準を規定し、ファシリティ性能、情報セキュリティ品質、IT サービス継続について、第三者機関による評価や確認を行い利用者に提供している。
		8.1.5 クラウド利用者からの預託された情報の返却	利用者が契約を終了する場合、利用者の情報資産は利用者の責任で削除することとしている。
	8.2 情報分類	8.2.1 情報の分類	利用者の情報資産は利用者ごとに仮想資源を割り当て明確に区分して管理している。管理状況については、利用者からの申し入れによって提示している。
		8.2.3 資産の取り扱い	利用者の情報資産は利用者ごとに仮想資源を割り当て明確に区分して管理している。管理状況については、利用者からの申し入れによって提示している。
9. アクセス制御	9.1 アクセス制御に対する業務上の要求事項	9.1.1 アクセス制御の方針	各種アクセス制御権限、内部統制が機能した権限付与プロセス、ＩＤ管理フレームワークをアクセス制御ガイドラインに規定し運用している。
		9.1.2 ネットワーク及びネットワークサービスへのアクセス	クラウドサービスに供するネットワークに対して、第三者による不正アクセスを防止し、適正な利用を確保するためのアクセス制御措置を提供可能としている。
	9.2 利用アクセスの管理	9.2.3 特権的アクセス権の管理	特権的アクセス権を管理する担当者と特権的アクセス権を使用して作業する担当者を分離し、定期的に特権的アクセス権使用者の確認と認証情報の変更を実施している。
		9.2.4 利用者の秘密認証情報の管理	秘密認証情報については、管理者のみ扱うこととして管理している。
	9.4 システム及びアプリケーションのアクセス制御	9.4.1 情報へのアクセス制限	提供するサービスは利用者ごとに仮想資源を割り当て明確に分離している。分離された資源に対するアクセス制御も実施している。
		9.4.4 特権的なユーティリティプログラムの使用	特権ＩＤは、利用者に提供していない。特権ＩＤの利用は、管理ツールを使用して認証処理と操作記録の取得を行い管理している。
	9.5 仮想化されたクラウドサービスのアクセス制御	9.5.1 仮想化資源の分離の確実な実施	提供するサービスは利用者ごとに仮想資源を割り当て明確に分離している。分離された資源に対するアクセス制御も実施している。

●お問い合わせ先 **株式会社アイ・エス・レーティング**　〒103-0023 東京都中央区日本橋本町 1-10-2 第 20 ビル　8 階
TEL：03-3273-8830　http://www.israting.com

第三者証明書
クラウドサービス提供情報セキュリティ対策

10. 暗号	10.1 暗号による管理策	10.1.1 暗号による管理策の利用方針	暗号を用いたアクセス制御を提供しており、暗号強度等の情報を利用者に公開している。
		10.1.2 鍵管理	暗号を用いたアクセス制御を提供しており、暗号強度等の情報を利用者に公開している。
12. 運用のセキュリティ	12.1 運用の手順及び責任	12.1.1 操作手順書	利用者に対して、クラウドサービスの情報セキュリティ関連機能を含めた操作マニュアルを提供している。また、問合せに迅速に対応するためコールセンターを開設している。
		12.1.2 変更管理	システムの変更は規程に基づき、作業毎に作業手順書を作成し関係者および情報セキュリティ責任者によるレビュー・承認を経て作業を実施している。重要なシステム変更に対しては特別な承認手続きを実施している。
		12.1.3 容量・能力の管理	提供しているクラウドサービスの資源に求められる容量・能力の監視・調整を実施している。月次で、資源状況を把握し管理している。
	12.2 マルウェアからの保護	12.2.1 マルウェアに対する管理策	クラウドサービスに供する情報処理施設等へのマルウェアの感染防止を実施している。
	12.3 バックアップ	12.3.1 情報のバックアップ	利用者毎に仮想環境を提供しており、利用者毎の仮想環境のバックアップ（１回／日）を実施している。また、そのリカバリ訓練も実施している。
	12.4 ログ取得及び監視	12.4.1 イベントログ取得	クラウドサービスとして必要なイベントログの取得を実施している。
		12.4.2 ログ情報の保護	ログ情報の記録の削除や改ざん、取得設定情報の変更は、管理者のみがアクセス可能としている。
		12.4.3 実務管理者及び運用担当者の作業ログ	特権利用の作業は管理ツールにより認証処理と操作記録の取得を行い管理している。
	12.5 運用ソフトウェアの管理	12.5.1 運用システムに関わるソフトウェアの導入	利用者が、クラウドサービス上にインストールするソフトウェアについて、マルウェアに感染していないかの確認も含め、利用規約等に規定している。
	12.6 技術的ぜい弱性管理	12.6.1 技術的ぜい弱性の管理	クラウドサービスの提供に供するネットワーク及びＩＴ機器に対して定期的に外部機関によるペネトレーションテストを行い、脆弱性の把握と必要な対策を実施している。

●お問い合わせ先 **株式会社アイ・エス・レーティング**
〒103-0023 東京都中央区日本橋本町 1-10-2 第 20 ビル 8 階
TEL：03-3273-8830 http://www.israting.com

	12.7 情報システムの監査に対する考慮事項	12.7.1 情報システムの監査に対する管理策	定期的（半年毎）に、クラウドサービスの運用を含めた管理策の監査を実施している。
13. 通信のセキュリティ	13.1 ネットワークセキュリティ管理	13.1.4 仮想ネットワークにおいて重視すべき脆弱性	作業手順書を作成、関係者および情報セキュリティ責任者によるレビュー・承認を経て作業を実施している。また、重要なシステム変更に対しては特別な承認手続きを実施している。
	13.2 情報の転送	13.2.2 情報転送に関する合意	クラウドサービスの提供において外部とのデータ連携を必要とするサービスの提供は行っていない。
		13.2.4 秘密保持契約又は守秘義務契約	海外のサービスを利用したクラウドサービスの提供は行っていない。
15. 供給者関係	15.1 供給者関係における情報セキュリティ	15.1.1 供給者関係のための情報セキュリティ方針	他組織である供給者のサービスを利用したクラウドサービスは提供していない。
		15.1.3 ＩＣＴサプライチェーン	他組織である供給者のサービスを利用したクラウドサービスは提供していない。
	15.2 供給者のサービス提供の管理	15.2.1 供給者のサービス提供の管理及びレビュー	他組織である供給者のサービスを利用したクラウドサービスは提供していない。
		15.2.2 供給者のサービス提供の変更に対する管理	他組織である供給者のサービスを利用したクラウドサービスは提供していない。
16. 情報セキュリティインシデント管理	16.1 情報セキュリティインシデントの管理及びその改善	16.1.2 情報セキュリティ事象の報告	資産管理の責任を明確にするとともに、管理責任者を明確にし、報告すべき情報セキュリティ事象の内容と連絡先をエスカレーションルールにより規定し、実施している。
		16.1.4 情報セキュリティ事象の評価及び決定	情報セキュリティ事象の取扱いルールを規定し、情報セキュリティインシデント分類の明確な基準を定めている。
		16.1.7 証拠の収集	情報セキュリティ事象発生時の証拠となり得る情報の収集を目的として「システム利用監視ガイドライン」により記録の取扱いを規定している。

●お問い合わせ先 **株式会社アイ・エス・レーティング**　〒103-0023 東京都中央区日本橋本町 1-10-2 第 20 ビル　8 階
TEL：03-3273-8830　http://www.israting.com

17. 事業継続マネジメントにおける情報セキュリティの側面	17.2 冗長性	17.2.1 情報処理施設の可用性	ファシリティとしての冗長性と合わせて、ネットワークを含むシステムを冗長化している。
18. 順守	18.1 法的及び契約上の要求事項の順守	18.1.1 適用法令及び契約上の要求事項の特定	日本国内の資源・サービスでのみ、当該サービスを提供している。利用者に対しては、利用規約、ＳＬＡで明確に記述し、契約終了時の取扱いについては契約書に記載している。
		18.1.2 知的財産権	日本国内の資源・サービスでのみ、当該サービスを提供している。また、他組織である供給者のサービスを利用したクラウドサービスは提供していない。
		18.1.3 記録の保護	日本国内の資源・サービスでのみ、クラウドサービスを提供している。情報セキュリティ事象発生時の証拠となり得る情報の収集を目的として「システム利用監視ガイドライン」により記録の取扱いを規定している。また、他組織である供給者のサービスを利用したクラウドサービスは提供していない。
		18.1.4 プライバシー及び個人を特定できる情報（ＰＩＩ）の保護	日本国内の資源・サービスでのみ、当該サービスを提供している。個人情報については、Ｐマーク認定を取得し個人情報保護法に則り管理している。
		18.1.5 暗号化機能に対する規制	日本国内の資源・サービスでのみ、当該サービスを提供している。日本国内の規制に従っている。
	18.2 情報セキュリティのレビュー	18.2.1 情報セキュリティの独立したレビュー	定期的（半年毎）に、情報セキュリティ監査を実施している。また、他組織である供給者のサービスを利用したクラウドサービスは提供していない。
		18.2.2 情報セキュリティのための方針群及び標準の順守	定期的（半年毎）に、クラウドサービスの運用を含めた管理策の監査を実施している。また、他組織である供給者のサービスを利用したクラウドサービスは提供していない。
		18.2.3 技術的順守のレビュー	他組織である供給者のサービスを利用したクラウドサービスは提供していない。

●お問い合わせ先 **株式会社アイ・エス・レーティング** 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町 1-10-2 第 20 ビル 8 階
TEL：03-3273-8830 http://www.israting.com

第三者証明書
クラウドサービス提供情報セキュリティ対策

３．アピールポイント

三谷産業株式会社アウトソーシングデータセンターは、「総務省：公共ＩＴにおけるアウトソーシングに関するガイドライン」「ＩＤＣイニシアティブ：ＩＤＣ活用ガイドライン（高品位規格）」の指針に準拠したデータセンター専用の建物・設備である。また、セキュリティ対策は、第三者による客観的な評価である情報セキュリティ格付けとして、中堅ＩＤＣ(Internet Data Center)ながら最高位（ＡＡＡis）を取得・維持している。強固なセキュリティレベルと合わせて、ファシリティについても優れた対策を講じている。さらに、ＩＴサービス継続対策についても、対策を講じている。なお、当該クラウドサービスは、日本国内の自社資源でのみ提供している。他組織である供給者のサービスを利用したクラウドサービスは提供していない。他国の資源、サービスの利用や他組織である供給者のサービスの利用に関するリスクがない。

ポイント	内容
【安心安全なクラウドサービス】 （高い情報セキュリティを確保したクラウドサービスを提供しています）	クラウドサービス利用者の情報資産は、利用者ごとに仮想資源を割り当て明確に区分して管理している。このため、マルチテナント型のクラウドサービスでは得られない高い情報セキュリティを確保している。 **日本国内の自社資源でのみクラウドサービスを提供しており、他組織である供給者のサービスを利用したクラウドサービスは提供していない。** このため、他国の資源、サービスの利用や他組織である供給者のサービスの利用に起因するリスクがなく高い情報セキュリティを確保している。
【情報セキュリティ評価・認証】	**ＩＳＭＳ（ISO27001）認証に加え、第三者の客観的な評価として情報セキュリティ格付け最高位ＡＡＡis（トリプルＡ）を取得・維持。**
【ＩＴサービス継続対策評価】	**「経済産業省：ＩＴサービス継続ガイドライン改訂版」をリファレンスとし、第三者による客観的な評価を実施。**
【ファシリティに関する評価】	**「日本データセンター協会：データセンターファシリティスタンダードVersion2.1」をリファレンスとし、第三者による客観的な評価を実施。**
【安全な立地】	ＩＤＣの立地は、東海、南海、東南海の地震の影響がなく災害の少ない地域性（石川県）と強固な地盤（Ｎ値 50 以上）に設置されており、海抜も高く(100m)水害は有り得ない。また、周囲に民家のない丘陵地にあり、爆発物等の危険施設もない。
【専用建物・設備】	以下の指針に準拠したデータセンター専用の建物・設備。 「総務省：公共ＩＴにおけるアウトソーシングに関するガイドライン」 「ＩＤＣイニシアティブ：ＩＤＣ活用ガイドライン(高品位規格)」
【大地震にも耐える免震構造】	サーバ棟は免震構造、管理棟は耐震構造とし、震度７の地震発生時でも継続してデータセンターの機能を維持。

●お問い合わせ先 **株式会社アイ・エス・レーティング**　〒103-0023 東京都中央区日本橋本町 1-10-2 第 20 ビル　8 階
TEL：03-3273-8830　http://www.israting.com

第三者証明書
クラウドサービス提供情報セキュリティ対策

【運用マネージメント】	ＩＳＭＳ（IS027001）認証に加え、情報セキュリティの格付け審査実施。さらに、設備の適合レベル維持、管理計画や運用要員育成計画は、情報セキュリティフォーラムにて「ＩＳＭＳ年間計画」に包含して経営陣に承認され、従業員及び関連する外部関係者に開示し、周知徹底。
【万全のセキュリティ管理レベル】	６段階のセキュリティ区画（駐車場(レベル０)からサーバ室(レベル５)）の各レベルに応じて、ＩＣカード、暗証番号、金属探知機、生体認証、サークルゲート(共連れ防止)によりアクセス管理の実施。さらに、サーバラック鍵管理システムによりすべての鍵の持ち出しと返却を記録するとともに、作業に必要のない鍵の持ち出しを防止実施。複数台の監視カメラを設置し、屋外・屋内とも死角のないモニタリングと録画を実施。
【二重化、冗長化された強い電源】 (災害発生時および災害復旧期間における停電の影響を回避出来ます)	２系統受電（系統の異なる別々の変電所より受電)を行っており、変電所～受電設備は二重化（本線、予備線）、さらに受電設備からＵＰＳ入力の電源経路は系統毎に独立しており、ＵＰＳ～サーバ室ＰＤＵの電源経路は２経路以上設置。ＵＰＳは予備機により冗長化されており、保守点検時も停止することなく連続運転が可能。非常用発電装置はサーバ棟（免震）の屋上に設置し災害発生時の安全性を確保すると共に、７２時間以上の連続運転が可能な燃料を備蓄。**同社グループ会社にて非常用発電装置の燃料（軽油）を取扱っており、自前で燃料の調達を行い安定した運用を継続することが可能。** 一連(本線受電～予備線受電切替～非常用発電切替)の停電テストと、停電発生時の要員行動教育、実地訓練を年２回以上実施。
【万全の雷対策】	全てのアースを積極的に接続する「統合接地方式」を採用し、落雷時の高電位差から発生する大電流による機器損傷を防止。
【万全の火災対策】	サーバ室には超高感度火災検知システムを設置、窒素系ガス(イナージェン)による消化設備を備えており、耐火構造による延焼防止対策を実施。
【安心を提供するデータ保管体制】	**免震構造のデータ保管庫棟をサーバ棟と別の建物として保有しており、サーバとの同時被災を防ぎデータ媒体を安全に保管可能。**
【信頼性の高いネットワーク接続】	**通信回線を冗長化。又、同通信回線事業者の局設備をセンター内に設置しており同局設備までの物理回線もループ構成となっており経路も分かれている。**さらに、災害やトラブル発生に備えて、基幹回線・基幹ＬＡＮ機器を完全二重化し、回線切断リスクを回避。二重化、冗長化された強い電源に接続。

●お問い合わせ先 **株式会社アイ・エス・レーティング**
〒103-0023 東京都中央区日本橋本町 1-10-2 第 20 ビル 8 階
TEL：03-3273-8830 http://www.israting.com

【空調設備】	サーバ室毎にサーバ室と別区画の専用空調機室を備え、各室４台構成で２台の交互運転体制。停電時は非常用発電装置により運転が継続される。万が一、設備の入替が必要になった場合でも、無停止で作業が可能（追加設置スペース、予備配管、電源ケーブル設置）。全ての空調設備に、漏水センサーを装備。
【運用要員の確保】	当社グループ会社全社で、緊急事態発生時の全従業者・家族の安否確認体制が確保され、安否確認訓練を年４回実施。地震などの災害発生時や新型インフルエンザ流行に対して、当社グループ各社からのＩＴ要員確保を含めた事業継続計画を作成。
【緊急宿泊】	緊急時の簡易宿泊室（シャワー、ベット完備の個室）２室をセンター施設内に完備。その他宿泊先として、徒歩圏内（３分）の「石川ハイテク交流センター」を利用する事が可能。また、災害時に賃貸可能なオフィススペースとして、徒歩圏内に「いしかわクリエイトラボ」がある。

以上

●お問い合わせ先 **株式会社アイ・エス・レーティング** 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町 1-10-2 第 20 ビル 8 階
TEL：03-3273-8830 http://www.israting.com